

ビジネスアイデアの概要

世界初の根本治療薬：特定の細胞内タンパク質を標的とし、パーキンソン病やレビー小体型認知症などのシヌクレイノパチーにおける α -シヌクレインの凝集・伝播を抑制する、疾患修飾薬の開発を目指している。

経口低分子医薬品：血液脳関門を通過して神経細胞内の病態に直接作用する、経口投与可能な低分子化合物である。

適応拡大の可能性：パーキンソン病に加え、他の神経変性疾患を対象としたパイプライン展開を構想している。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

製造・品質管理：原薬の物性に起因する安定性や製剤での溶出性の課題があり、製剤的工夫と評価が必要となる。

非臨床データの整備：臨床試験の用量設定に必要なデータや、適切なバイオマーカーの確立を進めている段階にある。

資金調達：原薬製造、毒性試験、臨床試験の実施には相当規模の資金が必要であり、公的資金やVCからの調達が不可欠である。

知財戦略：事業価値を維持するため、継続的な特許網の構築が求められる。

経営体制：事業化を牽引する経営人材の確保と体制整備が課題である。

事業化の見通し

臨床試験計画：医師主導治験として第1相試験の開始に向け、準備を進めている。

資金およびパートナーシップ：公的研究費への応募に加え、VCやインキュベーター、製薬企業との連携を進めており、体制構築に取り組んでいる。

出口戦略：臨床試験でヒトでのPOC（概念実証）を取得した後、製薬企業へのライセンスアウトやM&A等によるイグジットを目指す。

事業者情報

出口 敦智

ビジネスアイデア概要図等

